

目指せ、成田はえぬきworker! ～航空業界編 8/25～28



将来の選択肢の一つに

中学生や高校生が、実際の職業の現場を体験する「目指せ、成田はえぬきworker!」が成田空港で行われました。客室乗務員・グランドスタッフ・グランドハンドリングなどの業務を体験したほか、ランプセントラルタワーなどの、なかなか

入ることのできない、さまざまな航空現場を見学しました。参加者からは「仕事を体験してより一層グランドスタッフになりたいと思った」「飛行機が飛ぶまでにいろいろな人が関わっていることが分かった」といった声が聞かれました。



- 1 飛び立つ飛行機をお見送り
- 2 スーツケースにタグをつける体験も
- 3 オペレーションセンターを見学



浪江まち物語つたえ隊による読み聞かせ

ぬくもりコンサート 9/5



復興を祈り災害を忘れないために

防災週間に合わせて「ぬくもりコンサート」がなごみの米屋 スカイタウンホールで開催されました。東日本大震災や熊本地震、千葉豪雨の復興を願い実施された今回。吹奏楽や二胡などの演奏のほか、紙芝居の読み聞かせが行われました。紙芝居では福島県浪江町の請戸小学校の話が語られ、各被災地の復興への思いと防災の大切さについて考えるひとときとなりました。

バウンドテニスフェスタ 8/29



小さなコートで白熱のラリー

打ち合いを制して優勝を目指す「バウンドテニスフェスタ」が重兵衛スポーツフィールド中台体育館で開催されました。今回参加したのは、市内外から集まった20チーム。ブロックごとのリーグ戦で、接戦を繰り広げました。相手の動きを見ながら、小さなコートを駆け回り、鋭いショットを決めると、チームの仲間からは「ナイス!」などの声援が送られていました。



小さなコートでプレーするバウンドテニス



成田市LINE



成田市広報メディア推進課Facebook

成田市広報メディア推進課Instagram
#なりたさんぽ

成田市公式X



親子で楽しむロボット工作教室 8/29・30



試行錯誤の先に充実感

物作りの面白さを感じてもらおうと「親子で楽しむロボット工作教室」が中央公民館で開催されました。29日に完成させたロボットを、30日に改造した後、障害物が配置されたコースでのタイムレースを実施。参加者たちは、より良いタ

イムでの完走を目指し、ボディの重心を変えたり、パーツを追加したり、その長さや付ける位置を変えたりなど、さまざまな試行錯誤を積み重ねました。ロボットがコース終盤の階段を登り切ると、^{あんど}安堵の表情を浮かべていました。



1



2



3

- 1 親子で考えながら改造
- 2 ロボットの動きに注目が集まる
- 3 急な階段を力強く登る

寄席さんりづか亭 9/2



巧みな話術に笑いがあふれる

日本の伝統芸能である落語に親しんでもらおうと「寄席さんりづか亭」が三里塚コミュニティセンターで開催されました。今回披露されたのは、2人の落語家による「代書屋」と「皿屋敷」。テンポの良い話術にたちまち引き込まれる観客たち。竹製のすだれを掛け声に合わせて、自由自在に形を変えていく南京玉すだれやマジックショーなども行われ、会場は終始笑いに包まれていました。



軽妙な語り口に笑いが起こる



丁寧に生地をこねる

生スコーン作り教室 9/3



初めてでも簡単に

家庭で手軽にできるお菓子作りを楽しんでもらおうと「生スコーン作り教室」が成田公民館で行われました。薄力粉やベーキングパウダーなどを混ぜ合わせて生地を作り、型をとって焼き上げへ。外はさっくり、中はしっとり生スコーンが出来上がると、甘い香りと香ばしい焼き色に歓声が上がりました。参加者は「簡単に作れたので、家で子どもと作ってみたい」と笑顔で話していました。